

ＪＡしみず令和７年度上半期 経営状況のご案内

１．ＪＡの地域貢献

当ＪＡは組合員の皆様はもとより、管内の住民の皆様とともに助け合い、発展していく、地域に根差した協同組合です。「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立するという経営理念のもと、農業の発展や豊かな地域社会の実現に貢献することを目的とするとともに、地域から愛されるＪＡを目指し、金融共済や営農経済をはじめ総合的な事業活動を行い、皆様の日々のお仕事や暮らしのお手伝いをしています。

このような経営理念のもと、「しみずみらい応援団」プロジェクトの一環として、農産物の売り上げの一部から特別支援学校へ農業用機械を寄贈した他、各支店での１地域１協同活動や農業祭、地域行事への参加などを通じて地域の活性化に努めています。

また、ＪＡ青壮年部、女性部をはじめとする組合員組織とともに地域住民へ「食」や「農業」の大切さを広く流布すべく、率先してその“発信役”を担っています。未就学児から高校生を対象として、バケツ稲作り等の食農教育や地域の食材に関する座学を実施した他、地域での定期的な朝市開催やイベント出店により、地域住民との交流を図りました。

今後も地域社会への貢献を念頭にこのような活動を継続してまいります。

２．農協法及び金融再生法に基づく開示債権(単体)

当ＪＡの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。

今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：百万円)

債 権 区 分	令和７年３月末	令和７年９月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	479	386	▲93
危 険 債 権	19	115	95
要 管 理 債 権	-	-	-
三月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	-	-	-
小 計	499	501	2
正 常 債 権	85,926	88,685	2,759
合 計	86,425	89,187	2,762

注：１．令和７年９月末の計数は、令和７年８月末を基準日として行った自己査定結果(債務者区分及び債権額)を基準としています。

２．各債権の定義は次のとおりです。

１．破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

２．危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

３．要管理債権

４．「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と５．「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

４．三月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

５．貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

６．正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

3. 単体自己資本比率

当ＪＡの自己資本比率は令和７年９月末 13.22％程度と国内基準 4％を大幅に上回る水準を維持しています。

令和 7 年 3 月 末	令和 7 年 9 月 末 (見込み)
13.40%	13.22%程度

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。
国内のみで営業を行う金融機関には 4％以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額－コア資本に係る調整項目の額)}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額＋マーケット・リスク相当額の合計額を8％で除して得た額＋オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8％で除して得た額}}$$

2. 令和 7 年 9 月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算時の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。
信用リスク・アセットの一部は、令和 7 年 8 月末を基準日として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。
また、オペレーショナル・リスク相当額の合計額を 8％除して得た額は、直近決算における数値を使用しています。
なお、マーケット・リスク相当額の合計額を 8％で除して得た額は、不算入としています。

4. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和 6 年 9 月 末	令和 7 年 3 月 末	令和 7 年 9 月 末
貯 金	309,481	305,302	302,909
貸 出 金	84,505	86,387	89,146
預 金	192,719	186,622	182,150
有 価 証 券	32,588	30,125	32,342

注：令和 6 年 9 月末及び令和 7 年 9 月末の残高は帳簿価額を、令和 7 年 3 月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

5. 有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

	令和 7 年 3 月 末			令和 7 年 9 月 末		
	帳簿価額	時 価	含み損益	帳簿価額	時 価	含み損益
満期保有目的の債券	11,367	10,713	▲654	10,770	10,134	▲635

(単位：百万円)

	令和 7 年 3 月 末			令和 7 年 9 月 末		
	取得原価	時 価	評価差額	取得原価	時 価	評価差額
その他有価証券	21,903	19,470	▲2,432	21,653	19,027	▲2,625
株 式	1,078	1,950	871	965	2,068	1,102
債 券	19,783	16,533	▲3,249	19,687	15,964	▲3,722
そ の 他	1,041	986	▲54	999	994	▲5

- 注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。
3. 令和 7 年 3 月末及び令和 7 年 9 月末の含み損益・評価差額は、各時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しております。
4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。